

ごあいさつ

私たちの都市圏には、「自然環境や歴史資源といった豊かな地域資源」と「古くからの多様な交流」がもたらせた文化という特性があります。この文化を生かしながら、将来に渡って、「職(働くこと)」「住(住む場所)」「遊(遊ぶこと)」「学(学ぶこと)」といった人々の営みが充実した自立文化都市圏を目指すため、この度、第4次レインボープランを策定しました。

今後も、住民が暮らしやすい地域を目指し、新たなレインボープランに基づき、7市町で連携・協力してまちづくりを進めてまいりますので、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。



川越市長 森田 初恵 | 坂戸市長 石川 清 | 鶴ヶ島市長 小川 尋海 | 川島町長 藤間 隆 | 毛呂山町長 井上 健次 | 越生町長 新井 康之 | 鳩山町長 小川 知也

| | |
|---|--|
| <p>川越市</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 352,673 ●花 —— 山吹 ●鳥 —— 雁(かり) ●木 —— かし ●面積(km²) — 109.13 ●所在地 —— 元町1-3-1 ●電話番号(代表) 049-224-8811 | <p>毛呂山町</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 31,865 ●花 —— きく ●鳥 —— めじろ ●木 —— ゆず ●面積(km²) — 34.07 ●所在地 —— 中央2-1 ●電話番号(代表) 049-295-2112 |
| <p>坂戸市</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 99,404 ●花 —— サツキ ●鳥 —— — ●木 —— サクラ ●面積(km²) — 41.02 ●所在地 —— 千代田1-1-1 ●電話番号(代表) 049-283-1331 | <p>越生町</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 10,667 ●花 —— やまぶき、つつじ ●鳥 —— うぐいす ●木 —— うめ ●面積(km²) — 40.39 ●所在地 —— 大字越生900-2 ●電話番号(代表) 049-292-3121 |
| <p>鶴ヶ島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 69,675 ●花 —— ツツジ ●鳥 —— — ●木 —— マツ ●面積(km²) — 17.65 ●所在地 —— 大字三ツ木16-1 ●電話番号(代表) 049-271-1111 | <p>鳩山町</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 12,729 ●花 —— ツツジ ●鳥 —— ハト ●木 —— アカマツ ●面積(km²) — 25.73 ●所在地 —— 大字大豆戸184-16 ●電話番号(代表) 049-296-1211 |
| <p>川島町</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口(人)※ 18,613 ●花 —— はなしょうぶ ●鳥 —— ひばり ●木 —— もくせい ●面積(km²) — 41.63 ●所在地 —— 大字下ハツ林870-1 ●電話番号(代表) 049-297-1811 | <p>都市圏の面積 309.62km²</p> <p>都市圏の人口※ 595,626人</p> |

※人口は、令和7(2025)年4月1日時点の住民基本台帳より



埼玉県川越都市圏まちづくり協議会

川越市 坂戸市 鶴ヶ島市 川島町 毛呂山町 越生町 鳩山町



レインボープラン

第4次埼玉県川越都市圏まちづくり

基本構想・基本計画

埼玉県川越都市圏まちづくり協議会

埼玉県川越都市圏まちづくり協議会(レインボー協議会。以下「協議会」という。)は、昭和62(1987)年に設立された埼玉県南西部地域中心都市圏(川越地区)整備推進協議会を前身とし、現在、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、毛呂山町、越生町、鳩山町の7市町(以下「構成市町」という。)で構成されています。

協議会では、構成市町による広域的な連携の下、共通する課題などに取り組み、地域生活圏として、一体的な発展を目指しています。

埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画

埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画(以下「レインボープラン」という。)は、川越都市圏(以下「都市圏」という。)の総合的かつ一体的な整備の基本的な方向を明らかにする計画です。

協議会では、これまでレインボープラン(平成8年)、第2次レインボープラン(平成18年)、第3次レインボープラン(平成28年)を策定し、広域的な施策を推進してきました。

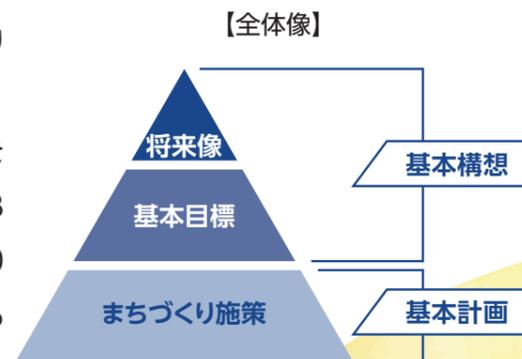
しかし、加速する人口減少や少子高齢化、大規模な自然災害発生などの予期せぬ危機、社会のデジタル化の進展など、社会状況は大きく変化しています。

このような状況に柔軟に対応しながら、持続可能な住民サービスを提供するため、都市圏の新たな指針となる第4次レインボープランを策定しました。

第4次レインボープランの構成と期間

基本構想は、令和17(2035)年度を目標年度とした都市圏の将来像や基本目標を示し、まちづくり施策の基本的な方針を定めます。

基本計画は、基本構想を実現するための施策を体系的に示す計画です。計画期間は、令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間とし、社会状況の変化などへ適確に対応するため、必要に応じて見直しを行うものとします。



- Kawago
- Sakado
- Tsurugashima
- Kawajima
- Moroyama
- Ogose
- Hatoyama

都市圏を取り巻く社会状況

我が国が人口減少・少子高齢化局面に入って久しい現在、都市圏においても、労働力人口の減少に伴う人材確保競争の激化や人口の地域的偏在化による東京一極集中などの課題があります。

また、近年、激甚化する自然災害やロシアによるウクライナ侵略といった緊迫した国際情勢、首都直下地震などの予期せぬ危機に対する不安も高まっています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行を契機として、社会のデジタル化や人々の働き方などのライフスタイルの多様化が進んでいます。

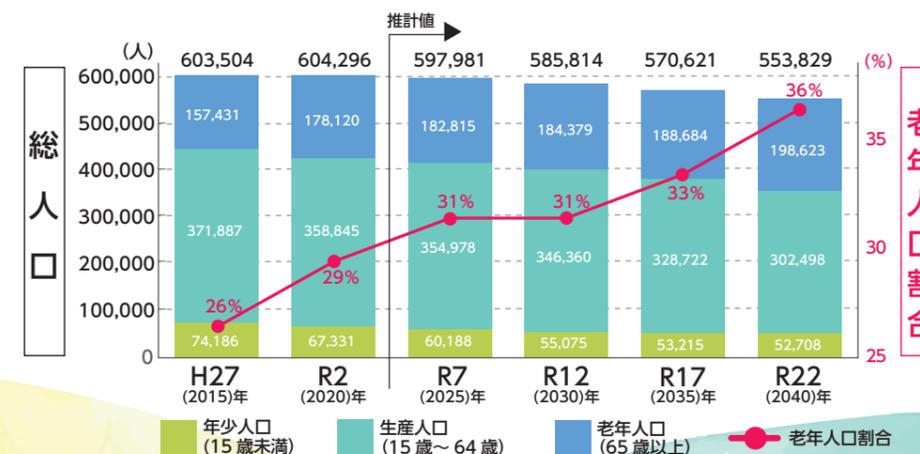
国際社会においても、SDGs(持続可能な開発目標)や「未来のための協定」が採択されるなど、価値観が変化しています。

都市圏の人口の推移

都市圏の人口は、平成27(2015)年に約60万人のピークを迎えましたが、令和22(2040)年には、約55万人まで減少すると予測され、人口ピーク時と比較して、約8.7%の減少が見込まれています。

年齢別人口は、今後、年少人口(15歳未満人口)と生産年齢人口(15歳以上65歳未満人口)に減少傾向が見込まれる一方で、老年人口(65歳以上)に増加傾向が見込まれます。

◆都市圏の年齢別人口の推移



出典:令和2(2020)年以前は「国勢調査」より作成
令和7(2025)年以降は国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」より作成



- おごせばいりん
- 越生梅林
- くろやまさんたき
- 黒山三滝
- かみやつ おお
- 上谷の大クス
- こだいそん
- 五大尊つじ公園
- せかいむめいせんしのほか
- 世界無名戦士之墓

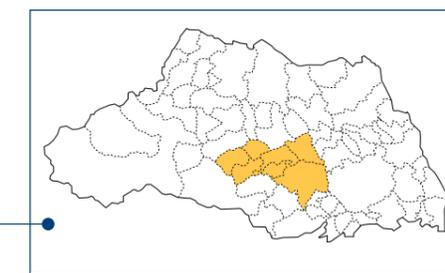


- おしゃもじ山公園
- ちきゅうかんそく
- 地球観測センター
- たかのくら
- 高野倉ふれあい自然公園
- いしざか もり
- 石坂の森
- かみくまのうさんぶつちよくばいじよ
- 上熊井農産物直売所
- 「ちよっくま」

- ごせんとう りゅう のぼ せいけんきゆう
- 五千頭の龍が昇る聖天宮
- さかど
- 坂戸よさこい
- めいじ
- 明治なるほどファクトリー
- きたあさばさくらづみこうえん
- 北浅羽桜堤公園
- しまだぼし
- 島田橋

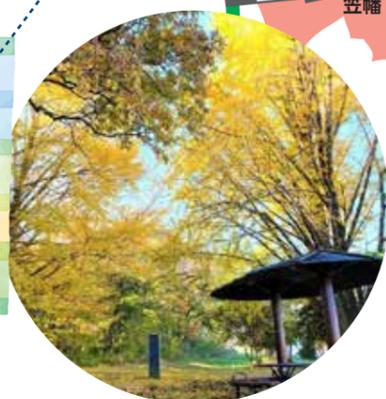


- とやまきねんかん
- 遠山記念館
- きんぶえ
- 金笛しょうゆパーク
- へいせい もりこうえん
- 平成の森公園
- こうとくじおおみどう
- 廣徳寺大御堂
- こんごうじ
- 金剛寺



- かまくらかいどうかみつみち
- 鎌倉街道上道
- いずもいわいじんじや
- 出雲伊波比神社
- かまきたこ
- 鎌北湖
- しゆくや たき
- 宿谷の滝
- かつらぎかんのん
- 桂木観音

- しらびげじんじや
- 白鬚神社
- たかくらひえじんじや
- 高倉日枝神社
- ガーデンパーク
- こうとくじんじや
- 高德神社
- つるがしま
- 鶴ヶ島グリーンパーク



- くらづく まちな
- 蔵造りの町並み
- かわごえひかわじんじや
- 川越氷川神社
- かわごえじょうほんまるごてん
- 川越城本丸御殿
- かわごえしんぎやうかんこうかん
- 川越市産業観光館
- こえどくらり
- (小江戸蔵里)
- かわごえし
- 川越市グリーン
- きよてんしせつ
- ツーリズム拠点施設



都市圏の特性

- 1 都市圏の概要
- 2 交通体系
- 3 美しい自然と多彩な文化
- 4 多様な産業と研究・教育機能の集積

まちづくりの3つの視点

地域資源を生かした持続可能な都市圏
 連携・交流により誰もが活躍できる共生都市圏
 暮らしやすい安全・安心な都市圏

都市圏の現状

- 1 都市圏の人口推移と将来推計
- 2 構成市町の財政状況
- 3 地域経済
- 4 少子化
- 5 高齢化
- 6 地域交流
- 7 地域の防犯・防災対策





豊かな地域資源と多様な交流が創り出す 自立文化都市圏

人づくり

○都市圏の魅力発信

効果的な情報発信に努め、都市圏の魅力発信の好循環を促進します。

○都市圏住民の共創の機運醸成

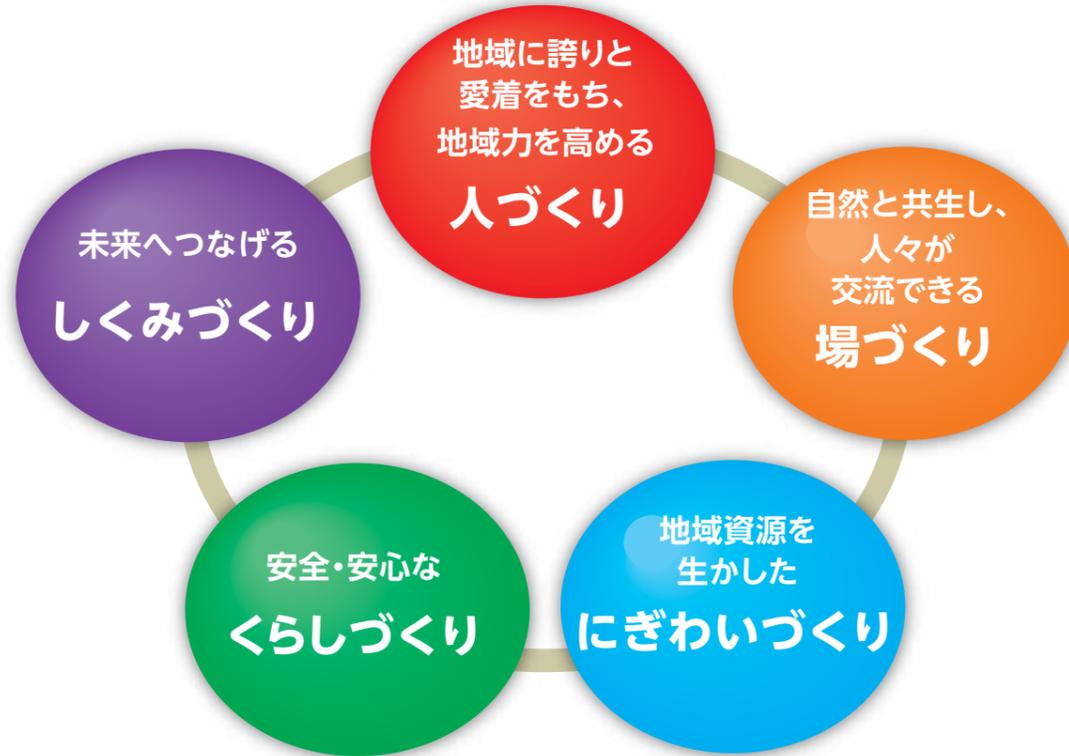
都市圏住民の交流を活発化し、一体感を高める事業に取り組み、市町を越えた共創の機運醸成を図ります。



SNS活用イベント事業 (川越市)



かわじま公園テニスコート (川島町)



場づくり

○自然とのふれあいの促進

自然にふれあう機会を提供し、都市圏の自然環境保全の機運醸成に努めます。

○交流機会の充実

都市圏に関わる人々の相互理解を促進し、地域に溶け込み、活躍する人材の確保に努めます。



レインボー婚活事業 (越生町)



上谷の大クス (越生町)

しくみづくり

○構想・計画推進体制の充実

構成市町の事業担当部局による連絡会を組織し、地域課題の解決に取り組むとともに、構成市町で共通する課題を共同で調査・研究し、業務効率化や生産性の向上に努めます。

○多様な主体との連携の推進

都市圏の多様な主体と都市圏の将来像を共有し、それぞれの強みを発揮できる環境を整備するとともに、県内外のほかの地域生活圏や自治体と連携し、都市圏住民が更に暮らしやすい自立文化都市圏の形成に努めます。



暮らしづくり

○防犯・防災対策の推進

都市圏の事業者などと連携した防犯対策や、広域防災連絡会による情報交換や調査研究に取り組み、都市圏の防犯力・防災力の向上を推進していきます。

○仲間づくり・居場所づくりの推進

都市圏住民が集まりやすい場を提供するとともに、市町を越えて気軽に出かけやすい環境を整え、仲間や居場所を得られるように努めます。



鶴ヶ島市運動公園 (鶴ヶ島市)



鳩山ニュータウン (鳩山町)

にぎわいづくり

○広域観光の推進

情報発信や広域観光キャンペーンなどに取り組み、都市圏の地域ブランド戦略を推進します。

○地域経済に活力を与える交流の促進

産業に活力を与える人材の交流促進などにより、都市圏内での地産地消の推進や都市圏の稼ぐ力の向上に努めます。



桂木ゆず (毛呂山町)



坂戸よさこい (坂戸市)